

雄武中だより

【重点目標】自ら考え行動し、新たな学びに向かう力を高める生徒の育成

学校HP <https://oumuschoolweb.ne.jp/0120012> →



8月号

令和8年8月31日(月)

発行：雄武町立雄武中学校

電話：(0158)-84-2529

足元を見つめ、正しく判断し行動する生徒に

雄武町立雄武中学校長 辻 正 樹

今年の夏休みは、昨年ほどではないものの暑い日が続きました。全国的にも記録的な暑さとなり、熱中症に関するニュースが連日報道されていました。そうした厳しい暑さも、最近では朝晩の気温が下がり、少しずつ秋の気配を感じられるようになってきました。地域の農作物が順調に育ち、豊穡の秋となることを願ってやみません。

夏休み中は、保護者・地域の皆様に子どもたちの生活を温かく見守っていただき、ありがとうございました。おかげさまで大きな事故もなく、無事に2学期を迎えることができました。

夏休み中には、北海道中学校陸上競技大会(旭川市)・卓球大会(札幌市)・剣道大会(留萌市)が開催されました。また、吹奏楽部は8月1日に北見地区吹奏楽コンクールに出場しました。結果は銀賞でしたが、今までの練習の成果を十分に発揮することができました。コンクールに向けて仲間とともに努力を重ねる姿は、大変立派なものでした。

学校では夏休み期間中に学習会を5日間実施しました。参加した生徒たちは、各教科の課題等に自主的に取り組み、自分に合った学習を真剣に進めていました。

1・2年生の多くは、夏休み中も部活動に汗を流しました。3年生が引退した後のチームを支えるため、一生懸命に練習に取り組む姿が印象的でした。来たる新人戦等に向けて、一人一人が技術を磨き、チームワークを高めていくことを期待しています。

夏休みを終え、一回り成長した生徒たちが学校に戻ってきました。これから冬休みまで続く2学期は、子どもたちの成長にとって大変重要な時期となります。夏休み明けの集会では、「夏休み気分をしっかりと切り替えること」、「大きな学校行事が続く中でも、足元をしっかりと見つめ、日々の授業や学校生活を大切に、油断することなく取り組むこと」の大切さについて話をしました。

メリハリのある学校生活の中で、生徒たちが大きく枝葉を伸ばし、豊かな実を結ぶことを期待しています。また、今年度の重点目標である「自ら考え行動し、新たな学びに向かう力を高める生徒の育成」の実現に向け、教職員一同、指導・支援を継続してまいります。引き続き、ご家庭のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

